

事業名:	社会的養護出身者相談サイトコンテンツ作成事業
資金分配団体:	公益社団法人ユニバーサル志縁センター
実行団体名:	一般社団法人コンパスナビ
実施時期:	2021年 6月～2022年 2月
事業対象地域:	全国
事業対象者:	社会的養護出身者、アフターケア事業者、児童養護施設、里親家庭、ファミリーホーム、自立援助ホーム等

進捗報告書（実行団体）

Version 1.0

2021年11月29日

[こちらの記載例](#)を参考に作成ください。

また、事業終了時の評価に関する[完了報告書のフォーマット\(暫定\)](#)は[こちら](#)です。

I. 事業概要

事業概要

「社会的養護出身の若者の困りごと相談ポータルサイト」構築を開始しており、アフターケア事業者等相談先の情報集積・コンテンツの充実がコロナ禍の今こそ急務と考えた。

「取材～コンテンツ作成業務」の創出で非正規や無職の退所者を業務の担い手として雇用し、取材を通し孤立防止、成果物充実が同じ境遇の者に役立つとの自己有用感の醸成を企図。当事者ネットワーク、支援者との連携で、困窮する若者たちにリーチしていく。

II. 進捗報告の概要

総括

【2022年2月に目標とする状態】社会的孤立や経済的困窮などの困りごとを抱える若者が、当事者（退所者）による退所者のためのポータルサイトコンテンツ取材・作成に携わる中で、支援団体や行政窓口、他の当事者との連携の経験を通して、困りごとを一人で抱え込むことなく、他者に相談できるようになる。

- ・より多くの当事者（退所者）がサイト構築のアルバイト終了後に次の仕事につながる
- ・目の前の困りごとを解消に向かわせることができる
- ・社会的孤立や経済的困窮などの予防につながる。

上記、目標の状態に近づけるよう、事業を進めてきた。

コロナ禍の影響から団体・事業者への訪問は困難な場面が多かった。

アルバイトを希望して応募してきた若者たち、自分たちと同じような苦勞をしている全国の若者に役に立ちたいとの意義を理解して進めることができていることはよかった。

Ⅲ.活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
<p>2021年7月26日 アルバイト参加者実人数1名 【目標：人】（のべ50組） アルバイト参加者への定期的な面談1名 【目標：回】 コンテンツアップのための取材件数0回 コンテンツアップのため作成が完了した原稿（動画）数8件 【目標：60件】</p> <p>-----</p> <p>--</p> <p>2021年8月25日 アルバイト参加者実人数5名【目標：人】 （のべ50組） アルバイト参加者への定期的な面談8名 【目標：回】 コンテンツアップのための取材件数2件 【目標：60件】 コンテンツアップのため作成が完了した原稿（動画）数8件【目標：60件】</p> <p>-----</p> <p>---</p>	<p>サイト掲載に協力してくださる団体との交渉に注力、60件の確約ができた。アルバイト候補者を推薦してもらっているところで、確約が8人である。</p> <p>課題・悩みとしては日本海側の県で、アフターケア事業者、団体が少ない点。掲載協力団体が固まったので、取材をどんどん進めていく。8月中旬は滋賀県2か所から開始する。</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材アルバイト応募者とのZOOM面談（すでに面談したところが9人、8月9日で予約も入っている） ・掲載協力先団体のうち取材させていただける事業者と、アルバイトとの日程調整 ・成果：3月末に巣立った若者が取材に行って団体のことを知って世界が広がった感想を述べていた。 ・取材アルバイト、入力作業アルバイトと能力などを考慮して仕事を割り振ることができた。 ・給与が発生した。 <p>■課題・悩みとしては</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載協力団体が全県ではないことが課題であった（厚労省の会議に召集された団体の中に開拓可能なところが見つかったのでアプローチを開始できる）。 ・取材アルバイトのリサーチ先に課題があった（B4Sさん、全国自立援助ホーム協議会さん、MasterPieceさんのご協力で、取材アルバイト応募者が堅調に出始めている）。 ・8月の大雨で取材の日程を動かさざるを得ない状況が発生、続いてコロナの緊急事態宣言にて9月中旬までの関東圏からの訪問を歓迎されない、忌避されている。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材アルバイト応募者（マスターピースさんのご紹介、B4Sさんのご紹介、ブローハン/高橋の知っている地方在住のユース）とのZOOM面談
<p>2021年9月25日 アルバイト参加者実人数4名【目標：人】（のべ50組） アルバイト参加者への定期的な面談5名 【目標：回】 コンテンツアップのための取材件数3件 【目標：60件】 コンテンツアップのため作成が完了した原稿（動画）数14件【目標：60件】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掲載協力団体に取材日程の調整 ・成果：引きこもりの女性（うつ）が入力バイトを進めていく中で、いい感じに頼ってくれるようになり、食料支援、衣料品支援ができるようになった。 ・ユニバーサル志縁センターさん主催の交流会にてピッケのハコさんと親しくなれたり、九州の団体さんや福山市のカモミールさんとも深く知り合えて支援者団体間の信頼関係が徐々に構築できつつある。北九州市の取材アルバイト志願者が関東での就労活動時にコンパスナビ所蔵の就活スーツのレンタルをした。 ・S市在住の入力アルバイト女性が本業では駆け出しのWEBデザイナーなのだが、コンパスナビの就労協力企業様のデザイナーさんたちが、彼女の作品にスキルアップの助言をしてくれた。 ・取材済の関東の団体さんの独自活動にコンパスナビ（ブローハン）の当事者発信活動連携の話が出てきている。 <p>■課題・悩みとしては</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回個別面談にて、関東の取材の充実に注力できればよいとの方向

<p>-----</p> <p>--</p> <p>2021年10月25日</p> <p>アルバイト参加者実人数 7名【目標：人】（のべ50組）</p> <p>アルバイト参加者への定期的な面談 7名【目標：回】</p> <p>コンテンツアップのための取材件数 2件【目標：60件】</p> <p>コンテンツアップのため作成が完了した原稿（動画）数 20件【目標：60件】</p>	<p>性をお示しいただいたので、コロナ緊急事態宣言明けの様子次第でスピード感をもって取材日程を詰めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代のワクチン接種が訪問の要件となる可能性が出てきているので、せめて直前のPCR検査等で訪問先のご心配を払拭していく必要ありか。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材アルバイト応募者（マスターピースさんのご紹介、B4Sさんのご紹介、ブローハン/高橋の知っている地方在住のユース）とのZOOM面談 ・掲載協力団体に取材日程の調整 コロナ緊急事態宣言明けで各団体落ち着かない中ではあるが、自団体利用者で取材参加の若者を複数推薦してくれるようになっていく。 ・成果：引きこもりの女性（うつ）がアルバイトを進めていく中で、いい感じに頼ってくれるようになり、食料支援、衣料品支援開始したら、他の当事者との交流を求めクローバーハウスに来所するようになった。 ・これまでのクローバーハウス利用者の中から取材アルバイトに応募するものが4人出てきた。（1名は実際に既に取材アルバイト済） ・取材が済んだ団体の利用者の中からクローバーハウス利用に訪問してくる者がでてきた。 ・関東近県の取材を11月重点的にアポ取り調整中 <p>■課題・悩みとしては個人情報取得同意書、振込に係る書類の提出が期日を守れない者が多い。</p>
---	---

活動	進捗状況	概要
<p>社会的孤立や経済的困窮などの困りごとを抱える若者が、当事者（退所者）による退所者のためのポータルサイトコンテンツ取材・作成に携わる中で、支援団体や行政窓口、他の当事者との連携の経験を通して、困りごとを一人で抱え込むことなく、他者に相談できるようになる。</p> <p>【より多くのユースが、サイト構築のアルバイト終了後に次の仕事につながる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材先として、就労支援ができるもしくは就労支援につながる全国の60団体（目標）を選定 ・今回のアルバイト自体が、累計で80名（目標）の就労前訓練となる ・就職にむけた基本的スキルを身に付ける機会とし、就労につなげる <p>【目の前の困りごとを解消に向かわせることができる】</p>	<p>サイト構築のための取材アルバイト・社会福祉協議会や法テラス情報をリスト化する入力アルバイトの2種のアルバイトを用意し、20名の登録があり、ZOOMによる面談実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●8月 取材アルバイト 0件 入力アルバイト 4件 ●9月 取材アルバイト 3件 入力アルバイト 2件 ●10月 取材アルバイト 7件 	<p>【全体総括】</p> <p>→コロナ禍でアルバイト先がなくなっていた者が新規アルバイトを開始できている。</p> <p>2年に及ぶうつ治療で生活保護下にあった者がアルバイトを開始したなど前向きに動き始めている。</p> <p>→生活困窮、医療的ケアなど課題を整理できるようになったと取材アルバイトの若者から感想があった</p> <p>→出身施設職員以外の大人に話ができることを体験できた</p> <p>→生活困窮、医療的ケアなど課題を整理できるようになったと取材アルバイトの若者から感想があった。</p> <p>→現在、自立援助ホーム入所中の若者複数名が20歳を迎えれば退所をせざるを得ず、取材先のアフターケア事業所で出会った出身施設職員以外の大人に話ができることを体験できた</p> <p>サイトのアンケート実施</p> <p>→現段階では、アンケート準備中。取材後の感想を記録している。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・取材中に、直接支援団体に相談できる流れを作る。 ・取材先の支援団体を通して、地域の自治体などの支援の仕組みとつながる 課題ごとに地域ごとの行政窓口、法テラス、警察、医療機関などに紹介や同行支援を行う。 ・地域の支援団体と連携して、上記の寄り添いを共有 <p>【社会的孤立や経済的困窮などの予防につながる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材先の支援団体と直接つなげる → 日常の見守りにつながる ・取材の前に研修・打合せを重ねる（打合せもアルバイトの対象） ・取材先の支援団体を通して、地域の自治体などの支援の仕組みとつながる 彼ら当事者アルバイトにより構築されるwebサイトの意義を関係者が認知しておく <p>①社会的養護出身者を中心に、困難を抱えている若者たちと支援先をつなげるポータルサイトである。</p> <p>②掲載した支援者同志のネットワークを構築する</p> <p>【サイトアンケートの実施】</p>	<p>入力アルバイト2件</p> <p>●確定している11月12月の予定 取材アルバイト10件 入力アルバイト1件</p> <p>●サイト構築状況 個々のアフターケア事業者原稿、社会福祉協議会リスト、法テラスリストを12月中にサイト内に格納作業を行う。</p> <p>2月中旬オープン予定。</p>	<p>研修</p> <p>→ソーシャルスキルトレーニングを講師にZOOMにて4回（同内容を2回）12月1月に実施予定。アルバイトには2回参加してもらう。</p>
--	---	--

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

<p>自由記述</p> <p>当法人では就労支援の事業を2018年から本格的に行っており、開拓してきた就労協力企業も登録数が50になり、埼玉県中心に関東での正規就労に力をいただいている。</p> <p>翻ってこのたびの休眠預金活用のこの事業にて声掛けをしてきた若者たちは、正規就労にはまだ準備が必要な段階の者が多い。前述の就労協力企業様に中間的就労、時短就労、アルバイト就労など柔軟な受け入れ態勢をとっていただきながら、働くことの喜びや、職場という居場所を得る充実感につなげることをこの事業をきっかけに進めているところである。</p> <p>取材に同行引率するコンパスナビ職員との会話、ZOOM面談や電話のやり取り、取材後に居場所事業クローバーハウスを利用するなかで醸成される関係性を大事にしながら、職業的な適性への気づきや自信を引き出していくことをスタッフ一同心がけている。</p> <p>コロナ第6波が起きる前に、目標に掲げた件数を達成するために頑張っていきたい。</p> <p>「困りごとを一人で抱え込むことなく、他者に相談できるようになる」との目標に関しては、最初のZOOM面談時に困りごとを話してくれるケースが多く、適度な距離感と当法人側が異年齢男女3人体制で向かい合うために安心してくれるのだと感じている。その後、多くの若者は電話も気軽にかけられるようになっていく。複数の生活保護受給中のうつ症状の若者で、衣料品・食料支援の依頼をしてきたので郵送で対応できている。また就職活動中の若者にはリクルートスーツの貸し出しをした。大人に頼ってもいいことを実感してくれている事例となっている。</p>
--

V. インプット

		2021 年度	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥3,915,000	¥597,685	15.26%
	管理的経費	¥270,000	¥88,346	32.72%
合計		¥4,185,000	¥686,031	16.39%

補足説明	
------	--

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>コロナ禍で、蔓延地域からの来訪者である我々が忌避される場面が多かったため取材に訪問することが厳しい期間が長く、調整に苦慮した。</p> <p>8 月末の台風時期も若者たちの安全を優先し調整が難しい時期があった。</p> <p>9 月、10 月と挽回すべく取材先・取材アルバイトの若者・当法人スタッフの日程調整を最優先に予定を組み臨んできた。</p> <p>11 月、12 月、確定している取材先があり、さらに増やし固めていく。</p>

VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等)	無	
広報制作物等	有	サイト構築趣旨を記載した文書をアフターケア事業者に送付
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	社員総会：令和 3 年 8 月 27 日 理事会：令和 3 年 7 月 28 日 令和 3 年 9 月 28 日
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	